

2025 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	井手上和代
演習テーマ	現代アフリカが抱える問題を開発経済学の視点から考える
校外実習	1、実施しない 2、実施（実施時期： 年 月）
メール・アドレス	ideue@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	月曜・木曜昼休み（希望者はメールで事前に連絡するようにしてください。）
2026 年度に 開講しない可能性 （研究サバティカル）	なし
授業概要	春学期は、開発経済学の枠組みに基づいて、主としてサハラ以南アフリカの国々の現状とそれらが直面する開発課題について先行研究を通して学びます。秋学期は、卒業論文執筆に向けて、Excel を使った経済データ分析方法を学びます。演習 1 に続き、開発協力の実務家、社会的起業家、行政官、研究者などを招き、講義と交流会を通じて、ダイナミックなアフリカ経済についての理解を深めていきます。
学習目標	1. アフリカの現状とそれらが直面する様々な開発課題を理解する。 2. 経済データを自ら探し、それを使って Excel で分析できるようになる。 3. 学術書の読解と報告を通じて、卒業論文作成のための基本的知識を習得する。
授業計画	原則としてゼミの運営は受講生と相談して決めますが、基本的な運営方法は以下の通りです。 【演習 2A】文献の輪読および全体討論＋ゼミ合宿＋アフリカ渡航に向けた安全講習 第 1 回：ガイダンス 第 2 回～第 14 回：文献購読・発表 第 15 回：春学期総括 【演習 2B】テーマを設定し、卒業論文作成に向けた準備を行う＋経済データを使いながら Excel の操作を学ぶ＋ゲストスピーカーによる講義 第 1 回：ガイダンス 第 2 回～第 14 回：各自のテーマについての調査報告、討論 第 15 回：秋学期総括
予習	報告者は PowerPoint を作成し、発表をしてもらいます。その際、分からない言葉や専門用語がある場合は、事前に調べた上で授業に挑んでください。輪読は、文献の内容紹介ではなく、議論を中心に進めますので、全員が必ず精読してきてください。また、秋学期からは毎週データ分析の課題があります。
復習	その都度指定します。

授業に関する 注意事項	<p>※アフリカ地域研究を履修していることが望ましい。</p> <p>※秋学期までに、Excel を自分の PC にインストールしておいてください。</p> <p>※日頃からメディアや資料・文献等を通じて情報を得る習慣を身に付けてください。特に、アフリカに関心のある学生は海外メディア・英語文献などからも情報・知識を得ることをおすすめします。百聞は一見に如かずです。できればアフリカ地域に足を運んでみてください。</p>
教科書	適宜指示します。
参考書	<p>高橋基樹・福西隆弘・山崎泉・井手上和代・松原加奈（2024）『アフリカ経済開発論』ミネルヴァ書房</p> <p>遠藤貢・阪本拓人（2022）『ようこそアフリカ世界へ』昭和堂</p> <p>宮本正興・松田素二編（2018）『改訂新版 新書アフリカ史』講談社現代新書</p> <p>山形辰史（2023）『入門 開発経済学』中公新書</p> <p>黒崎卓・栗田匡相（2016）『ストーリーで学ぶ開発経済学：途上国の暮らしを考える』有斐閣</p> <p>橋本紀子（2013）『Excel で読み取る経済データ分析』新世社</p>
成績評価の基準	<p>授業内での発表（30%）</p> <p>授業への貢献度（30%）※討論への積極的な参加を評価する</p> <p>レポート・課題（40%）</p>
関連 URL	
認定留学期間中の 遠隔指導	<input checked="" type="checkbox"/> 可 / 否 / その他()
備考	